



自治功労者表彰（続き）

■功労表彰【町政の向上発展に貢献】

前町消防団総務本部長 嶋田 之 仁
前町消防団教養本部長 佐々木 忠 直

■功労表彰【治安の維持、災害の防除、人命の救助等に貢献】

元保護司 平 野 茂 穂

■善行表彰【町政の向上発展に貢献】

高目自治区 西 田 晴 雄
株式会社渡部住建（西会津町）
会長 渡 部 伸
株式会社海老名建設（西会津町）
代表取締役 小 柴 芳 郎
株式会社あいづダストセンター（会津若松市）
代表取締役 一 重 卓 男

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

〔5年勤続〕

本町2自治区長 須 藤 忠 安
原町5自治区長 小 島 洋 一
原町6自治区長 橋谷田 豊
芝草自治区長 新 田 壽 重
大久保自治区長 清 野 慶 久

■納税貯蓄組合長永年勤続者

〔20年勤続〕

黒沢第2組合納税貯蓄組合長 渡 部 謙 一郎



受賞者・感謝状贈呈者の皆さん

長年にわたる功績をたたえ表彰 自治功労者表彰式

町では、11月24日に令和4年度自治功労者表彰式を町役場で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に貢献された17人に薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。

式では、薄町長が「長年にわたって各分野で尽力されたその功績に対し、町民を代表し衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べました。その後、出席した受賞者の皆さん一人一人に薄町長が表彰状や感謝状を贈りました。



令和4年度 表彰者・感謝状贈呈者〔敬称略〕

自治功労者表彰

■特別功労表彰【町民の模範となる善行】

在京西会津会会長 新 田 興 助
在京西会津会設立以来、40年の長きにわたり首都圏内の本町出身者と町内関係団体代表者などとの親睦を図る活動に尽力。平成30年11月より西会津応援大使として、本町の情報発信を通じ町政発展に貢献。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

元町消防団第2分団長 新 田 博 美
町消防団員として、34年6カ月の長きにわたり消防人として活躍。平成8年7月からは分団長を務め、団員の指導に励むとともに近代的な消防技術の向上に尽力し、組織強化に貢献。令和3年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

元町議会議員 渡 部 昌
町議会議員として、3期12年の長きにわたり、議会の伸展と町政の向上発展に貢献。平成19年7月からは総務常任委員会委員長を4年間務め、議会の円滑な運営と活性化に尽力。令和4年6月高齢者叙勲で旭日単光章を受章。

■特別功労表彰【町政の向上発展に貢献】

前町消防団長 長谷川 克 美
町消防団員として、48年4カ月の長きにわたり消防人として活躍。平成30年4月からは団長を務め、団員の資質向上と活力ある団運営に尽力。小型動力ポンプ付積載車の拡充にも尽力し、消防力の充実強化に貢献。

安心安全な冬の生活維持のために尽力

町道路除雪事業感謝状贈呈式

令和4年度町道路除雪事業感謝状贈呈式が、12月1日に町役場で行われました。これは、長年にわたり除雪事業に取り組んだ企業や団体、現場の最前線で除雪業務に献身的に取り組む、技術的にも優秀で後進の見本となる除雪従事者へ、その社会的貢献を表彰することを目的に実施しています。

式では、薄町長が受賞者一人一人に感謝状を贈呈し、「皆さんには、昼夜問わず道路除雪作業に取り組んでいるその労苦に心から感謝を申し上げます。今後とも他の除雪従事者の模範として、後進の育成や技術の継承にご協力をお願いします」と式辞を述べました。



【感謝状贈呈者】（敬称略）

目黒信一（野沢除雪ステーション）、佐藤宗夫（新郷除雪ステーション）、五十嵐要（株式会社海老名建設）、齋藤勇一（株式会社野沢商事）、野中寧（株式会社飯豊建設）



新しい民生委員・児童委員の皆さん

任期＝令和4年12月1日～令和7年11月30日

【野沢・尾野本地区】（敬称略）

担当地区	氏名
1町内・2町内北側	鈴木 房
2町内南側・3町内	長谷川 和典
4・5町内	伊藤 美津子
6・7町内	橋谷田 豊
8・9町内駅前通西側	齋藤 豊重
9町内駅前通東側・10町内・下小屋	小柴 正意
芝草	長谷川 美枝子
堀越・芹沼・塩喰	小野木 さよ子
牧・安座	長谷川 貞男
西平・中野・大久保・四岐	清野 義仁

担当地区	氏名
西原・森野	（選考中）
萱本・松尾	小柴 咲子
上小島・尾登	齋藤 広子
下小島・さゆりが丘	伊勢亀 久美
西林・西林東	本間 義治
縄沢・青坂・軽沢	青津 稔
牛尾・山口・出ヶ原	佐藤 政雄
黒沢・小杉山	渡部 孝子
野沢地区〔主任児童委員〕	長澤 文子
尾野本地区〔主任児童委員〕	荒海 孝子

【群岡・新郷・奥川地区】（敬称略）

担当地区	氏名
上野尻1・2・3・4	藤田 静子
上野尻5・6	江川 京子
下野尻南側・端村	藤原 清一
下野尻北側	平野 裕子
徳沢・杉山	山形 正
宝川・白坂	佐藤 末子
屋敷・榎木平・熊沢	佐藤 勇
柴崎・橋立・滝坂	佐藤 勝栄
平明・呼賀・原・新村	貝沼 利則
樟山・滑沢	細野 シズエ
小清水・漆窪・高目・荒木	會澤 真
戸中・橋屋・井谷・八重窪	渡部 カヅ子

担当地区	氏名
向原・塩・下松	伊藤 哲雄
新町・道目	井上 美枝子
山浦・出戸	三瓶 克己
中ノ沢・松峯	矢部 忠夫
中町・小山・真ヶ沢	猪俣 八重子
宮野・梨平・小屋	長谷川 成博
小綱木・大舟沢	宮澤 吉夫
極入	長谷川 恵子
弥平四郎・弥生	小椋 マサコ
群岡・新郷・奥川地区〔主任児童委員〕	佐藤 恵子



▲ 委員を代表して委嘱状を受け取る平野裕子さん



▲ 退任者を代表して感謝状を受け取る岩原稔さん



▲ 誓いのことばを述べる三瓶克己さん

12月1日、民生委員・児童委員委嘱状等伝達式が町公民館で行われ、任期満了に伴い新たに選任された委員42人に対し、薄町長より委嘱状が伝達されました（13頁参照）。委員は厚生労働大臣により委嘱され、任期は令和7年11月30日までです。

また、式では退任された委員の皆さんへ厚生労働大臣や日本赤十字社などからの感謝状が贈られました。

民生委員は、社会福祉増進のため、町民の皆さんの立場で生活や福祉全般に関する相談に応じ、必要な支援を行う地域福祉活動の担い手です。また、民生委員は児童委員を兼ねており、児童福祉に関する活動を専門に担当する「主任児童委員」と協力し、児童福祉に関わる活動も行います。このほかにも、町社会福祉協議会が委嘱する心配ごと相談員や日本赤十字社が委嘱する日本赤十字社協賛委員も兼ねています。

地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員（以下、民生児童委員）は、地域の皆さんが安心して生活していけるよう、行政や関係機関へのつなぎ役として、住民の立場に立って生活や福祉に関する相談に応じています。なお、民生児童委員の活動はボランティアであるため無報酬です。

活動内容

- ① 担当地区内の高齢者や障がい者世帯、児童・妊産婦のいる世帯、ひとり親世帯などへの見守りおよび相談支援活動
- ② 地域の身近な相談相手として、福祉制度などの情報の提供や、支援を必要とする人と関係機関のつなぎ役
- ③ 主任児童委員は、各地区の民生児童委員や関係機関などと連携して児童に関する相談支援を行う

一人で悩まず相談を

民生児童委員には、活動上で知り得た情報について守秘義務が課されています。相談内容や個人情報漏れることはありません。困りごとや悩みごとがあれば、1人で悩まず、気軽に相談してください。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎ 45-2214

身近な相談相手、行政などへのつなぎ役として活動 民生委員・児童委員が新体制になりました

知っていますか 民生委員・児童委員



議案16件、報告1件を審議・可決

12月町議会定例会報告

12月9日から14日までを会期に開かれた令和4年第8回町議会定例会では、条例の一部改正や令和4年度補正予算など議案16件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

令和4年8月豪雨災害の復旧状況――

町では、災害発生後、速やかに災害復旧工事に係る測量設計業務を発注し、国の災害査定に備えました。その後、10月中旬から開始された国の災害査定は、公共土木施設が10月21日に、林道施設が11月17日にそれぞれ終了しました。また、農地・農業用施設については12月9日に終了することから、順次、入札などの事務手続きを踏みながら災害復旧工事を発注していく計画です。このうち、特に被害の大きかった塩地区、向原地

区、道目地区、下松地区の農地は、すでに応急本工事として発注しています。なお、国庫補助事業に該当しない道路などについては、緊急度を考慮しながら町の単独事業として順次発注し、復旧工事を実施している状況です。

町総合計画・後期基本計画の策定――

令和5年度から7年度までの3力年の町総合計画・後期基本計画は、今年5月に策定作業を開始して以来、町民の皆さん25人による「総合計画検討会議」と、町職員25人で組織する「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携し、策定作業を進めてきました。



▲町民懇談会の様子

10月26日からは「まちづくり基本条例」に基づいて意見公募を開始したほか、新たに町民参加型合意形成プラットフォーム「デンデーム」も併せて活用し、11月4日まで計画素案に対し広く意見を募集しました。また、10月26日に奥川みらい交流館で、同27日には新郷連絡所、11月1日には保健センター、同2日には町役場で町民懇談会を開催し、約60人の町民の皆さんが出席しました。

この町民懇談会での意見を踏まえて後期基本計画の原案をまとめ、11月29日開催の町総合政策審議会に諮問し、適当とする答申を受けました。

首都圏等企業関係構築事業について――

本事業は、町デジタル戦略に掲げる共創の取り組みの1つで、昨年度の首都圏等企業による町視察交流ツアーでつながりを持った企業と継続的に関係を深め、町への企業移転などの実現に向けて本年度実施している事業です。

今年6月には、国内大手のコンサルティング企業が町内で耕作放棄地の解消に向けた仕組みづくりに関するプロジェクトイベントを開催しました。このほかにも、11月には、ICT関連企業が「デジタルと防災」をテーマにした勉強会や、国内最大手の総合電子工業メーカーが、中学生を対象としたプログラミングによる光を使った作品製作のワークショップを実施しました。

出産・子育て応援交付金事業について――

本事業は、今年10月に閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済

対策」において、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに経済的支援を一体的に実施する事業として、新たに創設するものです。

内容としては、令和5年1月より妊娠届出時および出生届出時を通じて、計10万円相当を給付するものです。併せて面談により心配事などの状況を把握し、必要な支援につなげていきます。なお、年度を前倒して実施するため、令和4年4月以降の出産について、さかのぼって適用する経過措置が図られる予定です。

令和4年産米の作柄とモニタリング検査――

農林水産省による10月25日現在発表の米の平均作況指数は、全国で「100」の「平年並み」の見込みとなり、県内では中通りと浜通りで「100」、会津が「99」で全国と同様、「平年並み」となりました。

水稲の作柄については、出穂期以降の日照不足や断続

可決された議案

◆町職員の給与に関する条例の一部改正Ⅱ人事院および県人事委員会の勧告に準じ、職員の給料を平均0.23割、期末・勤勉手当の支給月を0.05月それぞれ引き上げるための改正

◆町長等の給与および旅費に関する条例、議会議員の議員報酬および費用弁償条例の一部改正Ⅱ県知事など特別職および県議会議員の期末手当の改定に伴う改正

◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係

条例の整理に関する条例の改正Ⅱ町職員の定年年齢の引き上げなどに係る関係条例の改正

◆町温泉健康保養センター条例の一部改正Ⅱロータスインの温泉施設利用料の改定に係る所要の改正

◆令和4年度一般会計補正予算（第6次）Ⅱ農地・農業用施設災害復旧事業費など9056万4千円を増額

◆令和4年度一般会計等補正予算（第7次）Ⅱ県の改定に伴い特別職および議会議員の期末手当28万6千円を増額

◆西会津ケープルネットの管理に係る指定管理者の指定

◆西会津町総合計画・後期基本計画の策定

◆固定資産評価審査委員会委員の選任への同意Ⅱ高濱悦子さん（8町内）、齋藤和則さん（上野尻）、伊藤重人さん（塩）の選任に同意

温かいご支援ありがとうございます

甘利明彦さん・浅見敏道さん 町へ寄付金

11月16日、神奈川県在住で猟師として活動している甘利明彦さん（写真中央）とその友人の浅見敏道さん（右から2番目）より町へ寄付金をいただきました。甘利さんは50年以上、浅見さんは約40年にわたって福島県の狩猟期間に合わせて狩猟活動に来町しています。甘利さんは薄町長に寄付金を手渡し、「猟での滞在時に町民の皆さんから声を掛けてもらったりお土産をいただいたりと思い出ばかりです。感謝の気持ちを込めて、町のために有効に使ってください」と話していました。



宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で防災用品などを整備

徳沢自治区では防災用品、下松自治区では集会所で使用するエアコンとヒーターを、本年度の一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により整備しました。

コミュニティ助成事業は、地域のコミュニティ活動の充実・強化と住民福祉の向上などを目的に、「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。

〈問い合わせ先〉 企画情報課 企画政策係 ☎45-4536





冬を迎え、除雪作業スタート 除雪事業出動式

12月1日、町除雪センターで令和4年度除雪事業出動式が行われました。式では、オペレーターを代表して奥川除雪ステーションチーフの片岡建三さんが「冬の町民生活を守るため、安全で事故のないように取り組んでいきます」と決意表明を行ったほか、除雪車両の点検を行い、降雪時の出動に備えました。



▲ 除雪車両の点検の様子

自力での雪処理が困難な世帯を支援 雪処理支援隊出動式

町では、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援を受けることが難しい世帯の除雪を支援する「雪処理支援隊」を本年度も設置しました。12月1日にその出動式が町役場で行われました。式では、隊員を代表して渡部秀満さんが「支援が必要な皆さんが安心して地域で暮らせるよう、万全の体制で取り組んでいきます」と宣誓の言葉を述べました。



雪による事故防止のため関係機関で連携 雪害対策本部を設置

町では、雪の事故や交通障害などの雪害から町民の皆さんの生活を守るため、雪害対策本部を12月5日に設置しました。

対策本部では、雪崩発生危険箇所の巡視パトロールや、落雪による事故や雪下ろし中の事故防止のための啓発活動など、雪による災害予防に向けて活動を行います。大雪や雪害が発生する恐れがある場合などは、ケーブルテレビや防災行政無線、町ホームページなどで情報をお知らせします。



▲ 看板を掲げる薄町長と渡部町民税務課長

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm × 横 8.5 cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000 円 / 月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536